

NPS Naval Postgraduate School (米国海軍大学院)
 NWS National Weather Service (米国気象局)
 SSM/I Special Sensor Microwave/Imager
 (DMSP マイクロ波放射計)
 TPC Tropical Prediction Center (熱帯予測センター)

TRMM Tropical Rainfall Measuring Mission
 (熱帯降雨観測衛星)
 UKMO United Kingdom Meteorological Office
 (英国気象局)
 WISHE Wind-Induced Surface Heat Exchange
 (例えば、沼口 (1992))

国際学術研究集会への出席補助金受領候補者の募集のお知らせ

—国際学術交流委員会—

日本気象学会細則第7章「国際学術交流」に基づき、国際学術研究集会への旅費もしくは滞在費の補助を下記により行いますので、希望者は期日までに応募願います。

なお、下記の二項を会員に連絡致します。

1. 応募者の年齢や研究実績、研究環境等様々です。主として若手研究者育成の観点で、運用要領に基づき融通性を持たせて運用しておりますが、明記する応募資格として下記を追加します。「大学院生の場合は原則として修士2年程度の研究実績を要するものとする。」最近の研究本務者、大学院生以外の応募者が殆どありません。会員の幅広い層からの応募も期待します。
2. 申請書の記入不備、添付書類不備が一例ならずありました。注意を喚起します。具体的には、
 - ・申請書に研究発表の概要が記入されていない例、
 - ・研究実績（論文、発表）が未記入の例、
 - ・abstract 受領のみで受理前か、受理済みかを記していない例
 などです。

記

1. 対象の集会

2001年12月1日～2002年5月31日の期間、外国で

開かれる国際学術研究集会

2. 応募資格

日本気象学会会員で国際学術研究集会に出席し論文の発表もしくは議事の進行に携わる予定の者。ただし、ほかから援助のあるものは除く。なお大学等の研究を本務とする機関で定職に就いている方の複数回の助成は原則として認めないこととする。また大学院生の場合は原則として修士2年程度の研究実績を要するものとする。

3. 募集人員：若干名

4. 補助金額：開催地域を考慮し最高15万円程度

5. 応募手続：所定の申請書類を期日までに国際学術交流委員会

(〒100 東京都千代田区手町1-3-4 気象庁内 日本気象学会気付) に提出する。大学院生は指導教官の推薦状を併せて提出する。

期日：2001年9月15日

注：申請書は最新の様式のを日本気象学会事務局から取り寄せるか、気象学会ホームページにあるものを使用すること。申請書の様式は断りなく変更することがある。古い様式の申請書で応募しても受理しない。e-mail での申請は受け付けない。

6. 補助金受領者の義務

当該集会終了後30日以内に集会出席の概要を「天気」に掲載可能な形式で1ページ（2000字）程度にまとめ、報告書として委員会に提出する。